



男女平等に関する市民意識・実態調査の報告

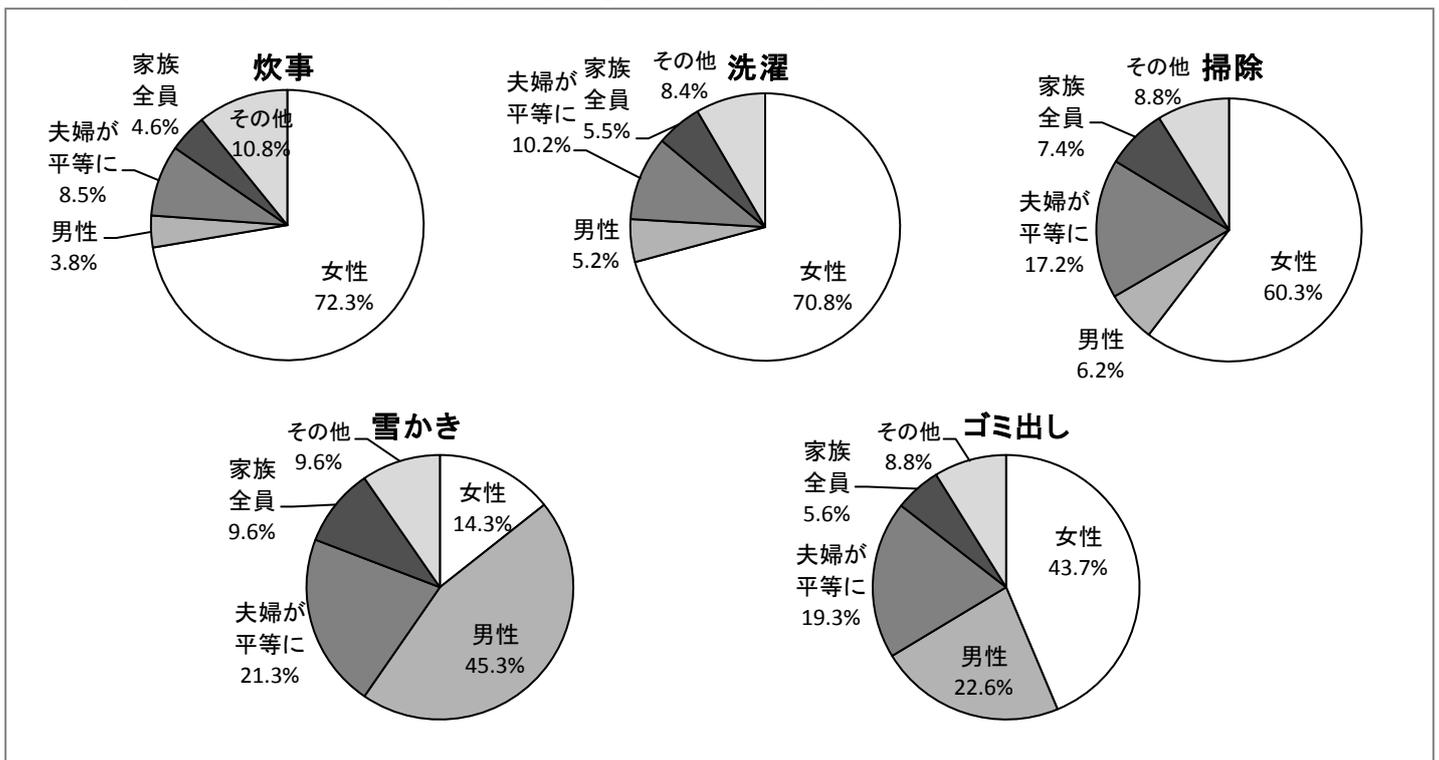
平成 24 年 10 月に実施した標記調査につきまして、調査項目ごとに結果概要をお知らせします。
今回は、「家庭生活について」です。

【家庭生活における仕事の分担について】

○家事について 12 項目に分けて、主に誰がその仕事をしているかを聞いたところ、「雪かき」「大工仕事・電気器具修理」は男性が 7～8 割と高く、その他は依然として女性の割合が高くなってはいますが、前回調査と比較すると、いずれも 10～20 ポイント低い傾向となっており、女性の家事負担が多少ではあるが軽減されてきている傾向がみられます。



問 あなたの家庭では、次にあげる仕事は、どなたが主にしていますか。



【少子化について】

○少子化の原因として感じているものについて聞いたところ、割合の高い順から「子育てにかかる費用の負担が大きいから」57.9%、「結婚しない人が増えたから」55.1%、「子育てを支援する施設や制度が十分ではないから」45.2%、「子育てと仕事の両立が難しいから」45.1%、「結婚年齢が高くなったから」42.0%となっており、前回調査の結果と順位は多少違うが、项目的には同結果となりました。



※報告書を希望される方は、市役所市民協働推進課（TEL 31-4504）までご連絡ください。

平成25年度釧路市道外派遣事業 参加報告 ～穂積貴美子さん、杉本千賀子さん～

【派遣期間】平成25年8月21日～24日（移動日を含む）

【派遣先】国立女性教育会館「平成25年度男女共同参画フォーラム～女性の活躍で日本を元気に～」

【報告概要】

★フォーラムの主題

女性の活躍で日本を元気に

★参加したワークショップ等 ※WS=ワークショップの略

22日(木) 基調講演「女性の活躍推進と社会の活性化」

WS「挑戦しました！市民団体が男女共同参画センターの指定管理に応募してみました。」

WS「女性の経済的・政治的分野への参画が進まないのはなぜ？－高等教育の場から探る－」

23日(金) WS「甲府市は男女共同参画都市宣言をしました。その心は？」

WS「いつか来るその時のために被災地から学び、いまできること～1通のパブコメから防災委員に～」

パネルディスカッション「女性の活躍推進と社会の活性化」

WS「落語と歌で楽しく考える男女共同参画～メディアが吹かせる男への『追い風』と『向かい風』」

24日(土) WS「拠点施設（女性センター）をどう活かすか～東京からの発信」

WS「再考『母娘関係』」



★研修を終えて・・・

基調講演を聞き、ダイバーシティ（多様性）の考え方が、従来の画一的な形にとらわれず、一人ひとりの多様性を認めた上で、個々人を活かす形で仕事や人事制度を取り入れていこうとする考えであることが分かりました。様々な個性豊かな人が適材適所で、各自の能力をフルに発揮できる社会づくりこそ重要だということです。今、各企業が、ワークライフバランスやダイバーシティを推奨する理由が改めて理解できました。

釧路市も、男女共同参画センター設立に向けて動き出していますが、利用者にとって良い企画をし、さまざまな人たちが利用しやすいセンターを目指していかなければならないと思いました。

今回、道外派遣研修事業に参加し、市民の一人として男女共同参画社会実現のために力を注ぎたいと思います。（穂積貴美子さん）

私が一番関心を持っていたWSは「女性の経済的・政治的分野への参画が進まないのはなぜ？」でした。私は、女性が社会進出する上で最も大切なことは、女性の意識の問題だと考えます。女性も男性と同じように積極的に働き、仕事で生きがいを感じる必要があると思います。また、女性が社会に進出しやすくするためには、日本社会の風土も変える必要もあるでしょう。

ジェンダーにとらわれない生き方、個性と能力が発揮できて、自分らしく生き、お互いを尊重し、協働する力を培わなければ、と思います。そして、男女共同参画が進んだ後のために、女性が自分自身を磨き、学習し、自己を高めていく必要があるのでは、とも思います。

今回の参加をきっかけに、男女共同参画を更に深く考え、また多くの人に伝えていかななくては、と思います。女性の地位が向上するためにも。（杉本千賀子さん）